

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

【振り返り】

アンケート記入

(総合 F) あと 10 分で 5 時なのですが、ここで皆さんにご相談なのですが、まず、アンケートを先にご書いていただきたいのです。アンケートを 5 分程度で書いていただいて、その後、やはりただ書いて出していただくだけではなくて、その中で一番言っておきたいことを、一言ずつ共有をして終わりたいと思っています。ですから、5 時を数分すぎるかもしれません。お許しください。まずはアンケートをお書きください。

本日のフォーラムの振り返り

(総合 F) まだ途中の方もいらっしゃるのですが、一言ずつ、これが一番重要だということを皆さんにお話いただいて、今日を締めたいと思います。それで、お話をいただく前に、一番重要だと思うところ下線を引いておいていただければありがたいと思います。

今日フォーラムに初めてご参加いただいて、どのようにお感じだったかということを一言言っていただくことで、次回に向けて私どもも準備いたしますし、皆さんも今日の印象を明確にしていいただければと思います。

それでは、書き終わった方から、そちらからいきましょう。一言ずつで結構です。それでは振り返りということをお願いいたします。

—— いろいろな意見が聞けたので良かったと思います。

強いて言うと、このフォーラムがこういう場なのかどうかよく分からないのですが、もう少し事実関係を追及する議論ができたらいいなと思いました。不透明だとか、利益を得ているとか、そういうことについて、もっと事実関係を追及した上で皆さんが意見を言えれば、もう少し深い議論ができるのではないかと思います。(拍手)

(総合 F) 今日はスタートですので、こういうところを出たご意見も参考にして、今後のフォーラムを組み立てていきたいと思っています。ありがとうございます。

—— 今日こういう会に初めて出させていただいて、私はとても良かったと思っております。原子力に関わっていらっしゃる方の意見も聞けたことは、私にとってはとても大きな収穫でした。これから楽しみにしております。(拍手)

—— やはり自分が安全神話に囚われていたなということに、改めて気づいたというのがあります。それが当然だと思っていた部分があったということのを再認識できたのは、自分にとって非常によかったと思います。(拍手)

—— 今日は初っ端なので、今後どのように議論を進めていくのかが楽しみです。素人のほうから見て、ムラという名前がついた一番の原因は、安全神話というところの信頼性だろうと。我々の知りえる情報と、中でいろいろ分かっているが伝えられていない情報と、そのギャップをいろいろ議論するのかと思って今日は来たのですが、まずはどう進むか。もう、行き当たりばったりで結構です。(拍手)

(総合 F) 皆で作っていければと思います。ありがとうございます。

—— 専門家の一人なので、今日は一般市民の方と対話できる機会をもって、すごくうれしく思います。特に、専門家は一般の人と話す機会がほとんどないので、先ほど閉鎖性という話もありましたけれども、そういう機会を提供いただいたし、これからも持てるということをととてもうれしく思っています。よろしくお願ひします。(拍手)

—— 皆さんといろいろとお話ができて、そのことがまた新鮮で、とても楽しかったです。いろいろと分からない面もあるので、これから勉強していきたいと思ひます。(拍手)

—— もしこの場に反対派の方がいて、糾弾されちゃったらどうしようと思ひて、実は胃が痛くてあまり眠れなかったのですが、皆さんとても理知的に話し合いをしてくださって、すごくいい場を与えていただけたなと思ひます。(拍手)

—— 普段お会いできない専門家の方々と率直にコミュニケーションをとることができたのが、とても良かったなと思ひるところです。

一方で、専門家の方と認識のギャップがあるということはステレオタイプには聞いてはいたのですが、そういうふうを感じる部分も実はあったので、そこが実際に感じられたのは非常に印象的でした。不透明や閉鎖的という言葉に対する専門家の方の反応が興味深かったというところがあります。またどうぞよろしくお願ひします。(拍手)

—— いつも専門の方と話すだけで、こういう機会はなかなかなくて。せいぜい家族と話すくらいで。非常に自由に束縛なく公平にお互いに意見を出し合えたというのは素晴らしかったし、非常に勉強になりました。それから、こういう議論というのはなかなか難しく、これからどう展開していくのかが楽しみにしていますので、また次も参加させていただ

きたいと思います。どうもありがとうございます。(拍手)

—— 今回初めて原子カムラという言葉を知り、今回参加しなかったら原子カムラという言葉を知らなかったのかなと思いました。専門家の方々の話を聞いて、どう思っているのかということがよく分かりました。ありがとうございました。(拍手)

—— お話をいただいたときに、何から調べていいのかわからなかったのです。今日お話を聞いて、おっしゃることが、意外と言ってしまうと申し訳ないのですが、バランスが取れていたのが、びっくりしました。極力推進するんだ、やめるんだ、ではなくて。その辺りがびっくりしたというか、よかったです。(拍手)

—— 一点気になったのは、今回は首都圏在住者ということで集まったということですが、都会と田舎ではこういった議論は違ってくるのかなと。今回は特に、首都圏の意識の高い方々が抽出されているということで、またちょっと違ってくるのかなという印象も受けました。(拍手)

—— 原子カムラという言葉に対して、私は個人的には一般的な言葉だと思っていたので、聞いたことがないという方もいらっしゃったので、関心や認知度というところから格差があるのだなということが発見でした。

あと、シンプルなものでいいのですけれども、皆で話し合う中での共通の目的とか、このフォーラムの目指すものが確認できるといいなと思いました。(拍手)

(総合 F) ありがとうございます。今の点については、最後に木村さんが一言お話をしてくださると思います。

—— いろいろ参考になりました。今後も頑張れそうです。(拍手)

—— まったく違う価値観、まったく違うベースをお持ちの方から、非常に面白い視点、はっとするような表現、そういったものを今日は聞かせていただけて、非常によかったですと感じております。ありがとうございました。(拍手)

—— 今日はちょっと詰め込みすぎで、消化不良の面が出てきたのかなというところがあるので、やはり皆が、ああ、今日はよかったなというような感じの時間割が、次回からはできればいいかなと、少し苦言を呈しておきます。(拍手)

—— 原子カムラと自分たちの生活の境界線というのは、結構近くにあったのではないか

ということを、今回思いました。今までは遠くのことだと思っていたのですが、事故があってホットスポットができるようになったときに、やっと初めて、境界は意外と近いところにあったのだなということを社会が思ったのではないかと感じました。

—— こういう場で、同じテーブルで、一緒にお話をできたということは、本当にすごい収穫だなと思いました。残り4回が楽しみです。ありがとうございます。(拍手)

—— 私も今日はいろいろな方のお話を聞いて、とてもためになりました。これで関係性を越えられるかなというところをちらっと聞いてみたら、まあ無理だろうね、という答えが返ってきたので、それがなるべくできるように、次からも頑張りたいと思います。(拍手)

(総合 F) 皆さん本当にありがとうございました。一言一言に今日の実感がこもっていて、私ども運営者側もそれを受け止めて、次回に向けて山のように準備をし、山のように反省をしながらやっていきたいと思います。

それでは、次回のことも踏まえて、最後の一言ということで、研究代表者の木村からお話をさせていただきます。

(木村) 皆さん、今日はどうもお疲れ様でございました。ご意見にもありましたけれども、今日は本当に詰め込み感がありすぎまして。でも、最後のところで、皆さんから次回のテーマの方向性を見せていただきましたので、それを受けて次回のスケジュールを組んでいきたいと思います。次回は最初のイントロダクションがありません。最初からちゃんと本題に入れると思いますので、じっくりと話し合うスケジュールが取れるのではないかと期待しております。

このフォーラムの目的は、関係性を越えるためのきっかけをどうしたら見出せるかということなので、うーん、無理かなと思いつつも、一歩ずつ近寄る努力をしていただくと助かります。今後もそのようなフォーラムの組み方をしていきたいと考えておりますので、ぜひ、よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。(拍手)

(総合 F) ありがとうございます。

それでは、2週間後に向けてまたきちんと運営者側も準備をいたします。ぜひまたお越しいただければと思います。

最後に、アンケートをお出しいただければと思います。担当の土田さんがきちんと受け取らせていただきますので、よろしく願いいたします。

<第1回フォーラム 終了>